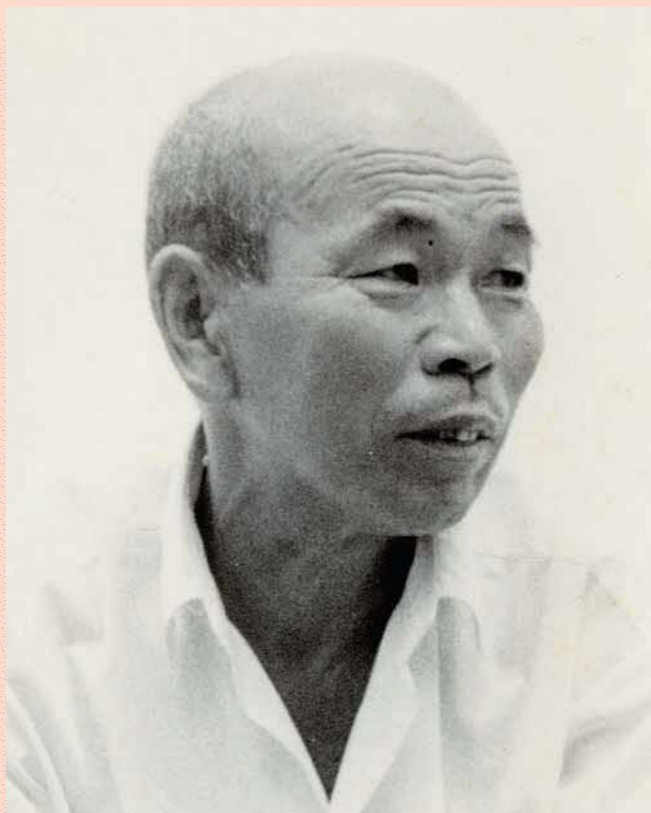


むねのまほろ  
宗野真幌

柳井市  
(1905～1986)

宗野真幌（本名、宗野徳尾）。ハワイにて出生。柳井市平郡島に帰国、農業（主に煙草）に従事、島にて一生を過ごす。

『山口県詩選』『こだま』『駱駝』等数々の詩誌に作品を発表。島に居て島を書かない不思議な詩人であった。

平郡島にあってもみんなから「徳兄とくにい」と呼ばれ「煙草作り」の名人と言われ親しまれていた。

詩作品においては実に「自由奔放」であり、「例え」のため難解さを持ち合わせているが、人柄は実に憎めない性格であった。  
(たむらのおゆき)

## 【主な著作】

詩集『紫巾』（北方の詩社、昭和9年）

詩集『異本抄』（柳井市文芸協会、昭和31年）

詩集『SATURDAY譚』（こだま詩社、昭和47年）